

ニセモノでんわ

と

おとなカレー





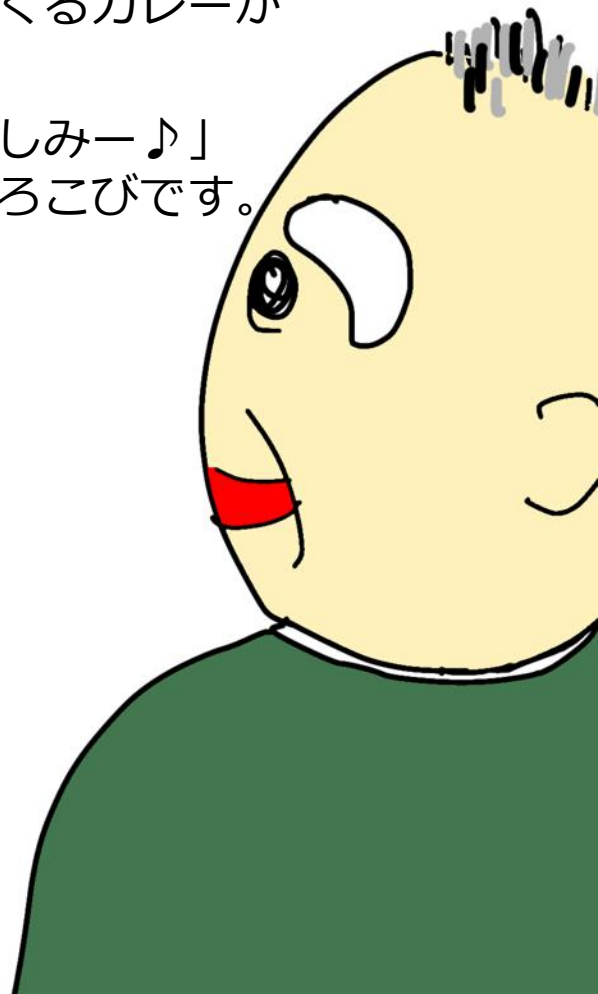
けんちゃんは いちねんせい。
きょうは おとうさんと おじいちゃん おばあちゃんの
おうちに おとまりです。



「あらー！ よくきたわね。
きょうは けんちゃんの だいすきなカレーをたくさん
つくっておいたわよ。」
「わーい！」

けんちゃんは カレーライスが だいすきです。
とくに おばあちゃんが つくるカレーが
だいすきです！

「カレーライス たのしみー♪」
けんちゃんは おおよろこびです。



おばあちゃんは
おとなよりの
からいカレーと
けんちゃんのために
からくないカレーを
つくってくれていました。



ごはんの じかんに になりました。
ところが けんちゃんは なんだか
きげんが わるいみたい。



「やだー！ ぼくもう いちねんせいだもん。
おとなのカレー たべられるよ！
おとなカレー たべるんだ！」

みんなと いっしょに おとなカレーが
たべたいようです。 けんちゃんはい
いはって ききません。



あんまり ききわけが
ないので おばあちゃんは
しかたなく からい
おとなカレーを よそって
あげました。

「からかったら むりしないで のこすのよ。」

「やったー！ いただきます。」

けんちゃんが からい おとなカレーを ひとくち

くちに いれると 「う、うぐぐ・・・」

とっても からくて くちから ひが でそう。



けんちゃんは あせを だらだら かきながら
なんとか からい おとなカレーを たべきりました。

くるしくなった けんちゃんは
すぐに ねてしまいました。

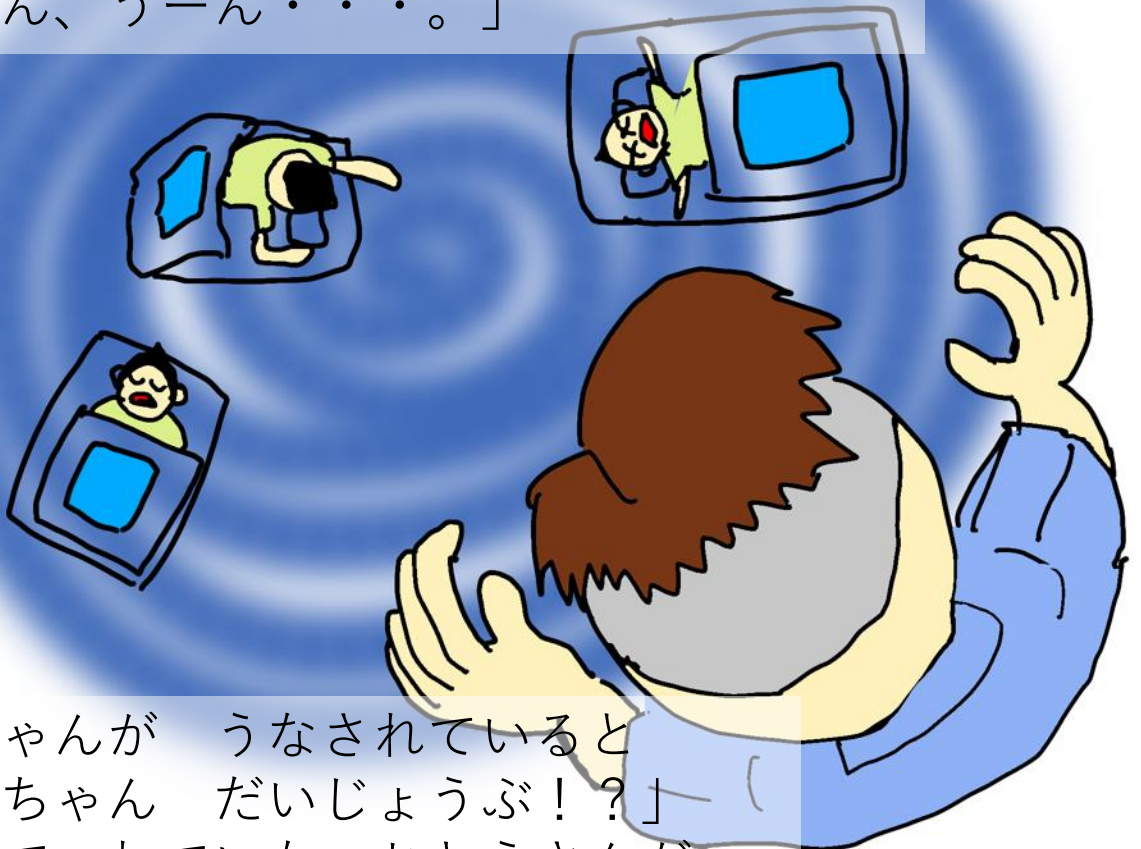
おとうさんたちは けんちゃんのことを しんぱいです。



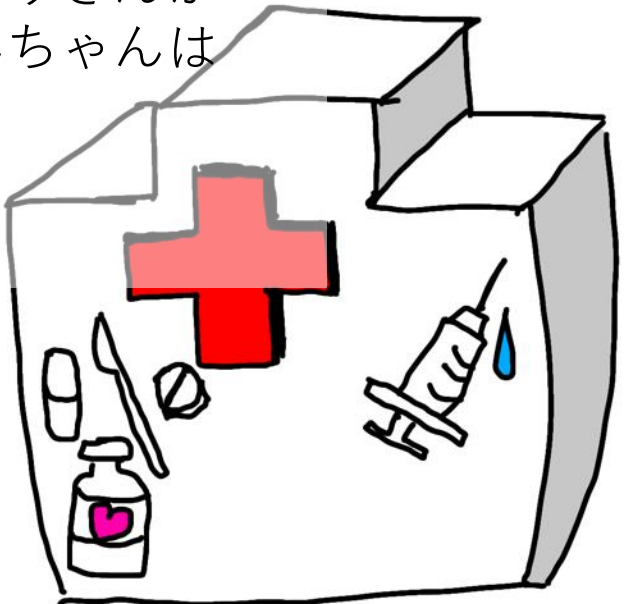
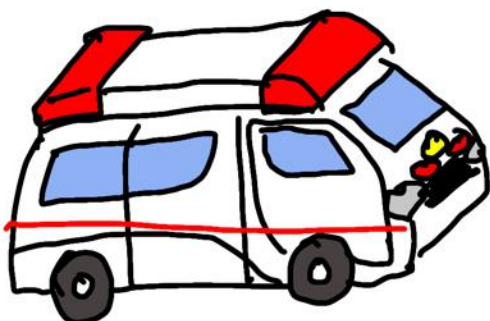
けんちゃんは ふとんに はいっても
のどが ヒーヒー くちびるは ビリビリ
ねれません。

なんだか おなかも いたく なってきて
めが グルグル まわりだしました。

「うーん、うーん・・・。」



けんちゃんが うなされていると
「けんちゃん だいじょうぶ!？」
となりで ねていた おとうさんが
きづいてくれました。けんちゃんは
きゅうきゅうしゃで
びょういんに いくことになっ
てしまいました。



つぎのひ けんちゃんは みんなと プールに いく
よていでしたが くすりを のんで ねることに
なっていました。

「ぐすん……。 からい おとなカレーなんか
たべなければ よかった。

ぜんぜん おいしくなかったもん。」

プールに いけなくなったので おばあちゃんとおとうさんは
かいものに でかけました。
けんちゃんは おじいちゃんとおるすばんです。



「リリリリン」

けんちゃんが ねていると でんわの なるおとで
めが さめました。

「おとうさんかな？」

けんちゃんが きになって みにいくと

「なんだって！

おとうさんが くるまで じこをした？

うん うん それで・・・」

でんわの あいては おとうさんのようです。

ただ おじいちゃんは何だか とっても
あわてています。



けんちゃんは がっこうで おそわった
「とくしゅさぎ」のことを おもいだしました。
「でんわで おかねのはなしを されたら さぎ！」
けんちゃんは でんわが あやしいと おもって
いっしょうけんめい おじいちゃんを とめようと
しました。

「おじいちゃん！ そのでんわ あやしいよ！」
でも おじいちゃんは
「いま おとうさんと だいじな はなしを してる
から すこし しずかにしてて。」
と きいてくれません。
とうとう けんちゃんは…



「おじいちゃん！ そのでんわ かわって！」
「もしもし おとうさん？ ほんとうの おとうさん??」
「うっ、・・・そうだよ、くるまで じこをしちゃっ
て・・・」

でんわの あいては たじたじです。

「ほんとうの おとうさんなら なんで きのう ぼくが
びょういんに いったのかいってみて！
こたえられるでしょ。」

「え・・・？ びょういん？ うーん... おなかが...
いたくて？」

「じゃあ なんで
おなかが いたく
なったの？」

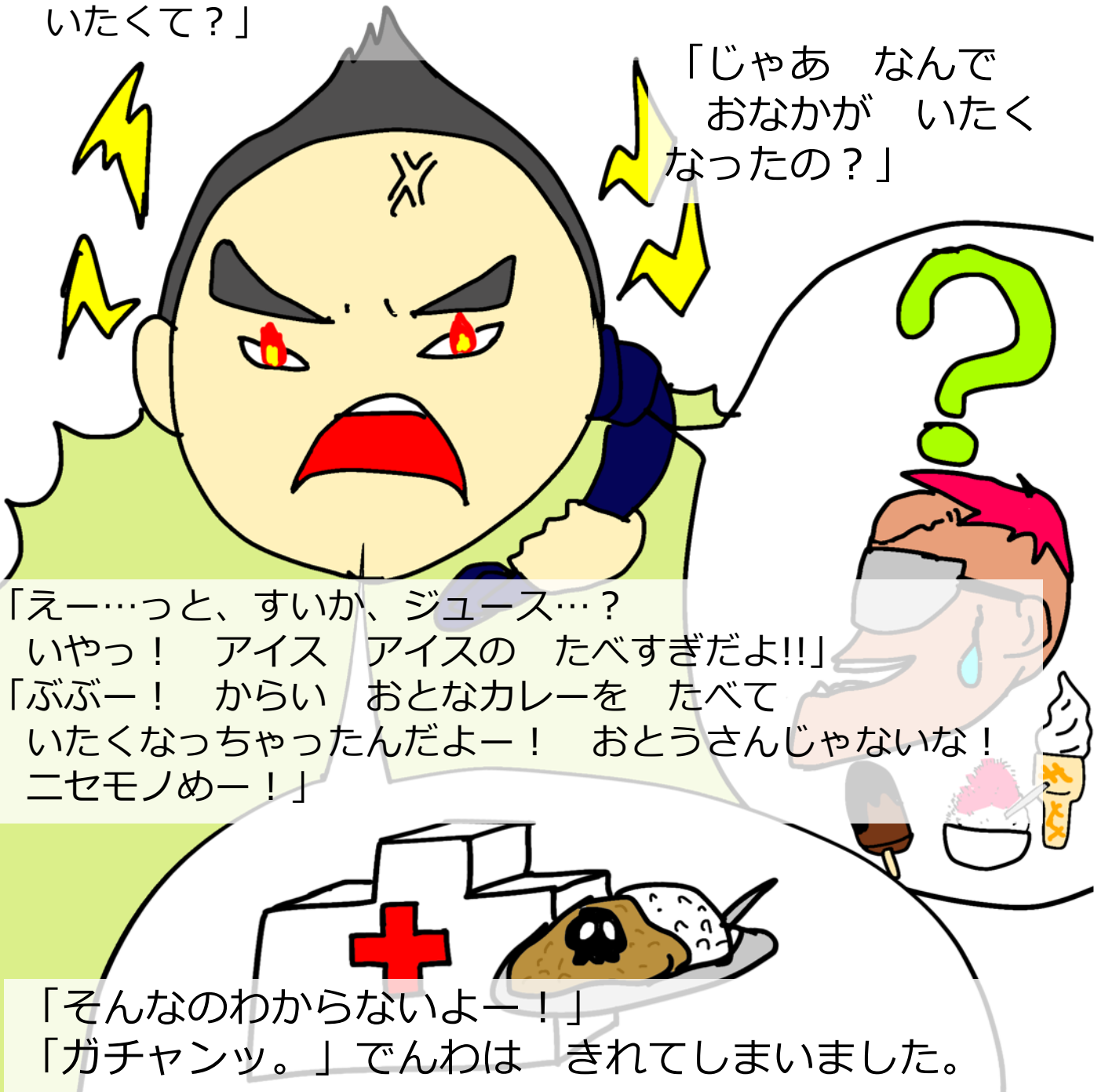
「えー……っと、すいか、ジュース…？」

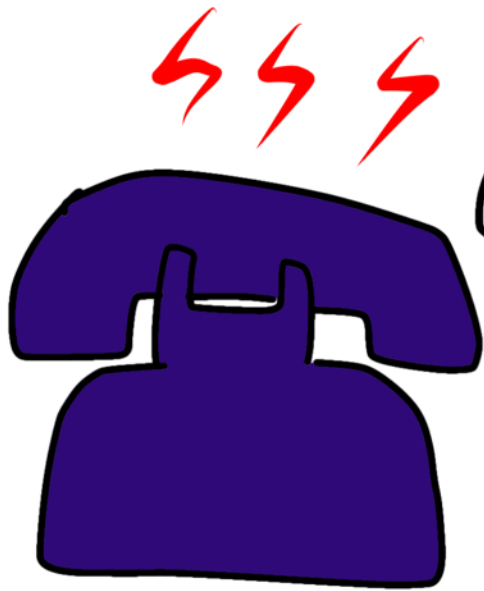
「いやっ！ アイス アイスの たべすぎだよ!!」

「ぶぶー！ からい おとなカレーを たべて
いたくなっちゃったんだよー！ おとうさんじゃないな！
ニセモノめー！」

「そんなのわからないよー！」

「ガチャンッ。」でんわは きれてしまいました。





「おじいちゃん、でんわは
ニセモノのおとうさん
だったよ。」

「リリリリン」

そのあと すぐに また でんわが なりました。

「ぼくが できるよ。」 「もしもし…」

けんちゃんが でんわに できると

「もしもし おじいちゃん？ けんちゃんの
ぐあいはどう？」

「おとうさん！ でんわでは なまえを いわないと
だめだよ。 おじいちゃんが だまされるところ
だったんだ。」



さぎのでんわのはなしをきいたおとうさんたちは
すぐに かえってきました。

「けんちゃん、おじいちゃんを たすけてくれて
ありがとう。」

「おじいちゃんを たすけてくれるなんて
けんちゃんは すっかり おとなだね！」

みんなに いわれて、けんちゃんは すこし
はずかしくなりました。

「ぼくは まだ おとなより、
からくないカレーのほうが いいや。」
そうって きのう たべなかった からくない
カレーを おかわりして たべました。

